

愛西市立小中学校規模等適正化

第 1 回保護者説明会 報告書

○会 場 八開地区コミュニティセンター

平成 29 年 9 月 16 日 (土) 10:00～11:30

(参加者：56名 アンケート回収55件)

平成 29 年 9 月 16 日 (土) 13:00～15:25

(参加者：51名 アンケート回収47件)

○会 場 立田体育館

平成 29 年 9 月 17 日 (日) 10:00～11:35

(参加者：53名 アンケート回収53件)

平成 29 年 9 月 17 日 (日) 13:00～14:25

(参加者：32名 アンケート回収30件)

○参加者延べ人数 192名

第1回保護者説明会 9月16日(土)・17日(日) 質疑応答

No.	地域	氏名	質問
1	八開地区	問	小中一貫教育のデメリットを教えてください。
		答	小中一貫で人数が増えれば静かで落ち着いた生活環境ができない、学校内での児童生徒の問題が発生する可能性が高くなる等の問題が考えられますが、教員の配置や教育方針によって解決できる問題であると認識しております。ただ、事実として規模の大きい学校では学級崩壊などの問題が発生している例がありますが、教育委員会としてはデメリットを一つずつ解決し、メリットを最大限に活かせるよう努力していきたいと考えています。
2	八開地区	問	子育て支援センターが各地区に無くなってしまふのか、そして新しい学校の近くに子育て支援センターができるのか。引越し先を選ぶのに学校が近いという理由がある。八開から学校を無くすと人口減少が進む。今の立地予定地は立田に寄りすぎているのでもっと八開側にしてほしい。小中一貫校は小学校時に不登校になった子は中学校に上がる段階で復帰する機会があるが、それが無くなるのではないのか。
		答	現在は学校適正規模の方向性を示したのみですので、子育て支援センターの在り方についてはこれから検討していかなければならない。学校の近くに引越したいという観点は確かにあります。しかし、教育委員会としてはスクールバスを導入し、場所に関係なく通学の負担を減らすことはメリットになると考えています。小中一貫校では復帰機会が無くなる点もありますが、小規模校でも人間関係が固定されるというデメリットがあります。これらの問題は教育環境を整備することで解決できる学校内の課題ではないかと考えています。
3	八開地区	問	今の人口減少を考えると何十年も先には必ず学校統合が必要になるのはわかります。しかし、数年後に統合する必要はない。統合する頃にはもっと人口が減っているのだから、増築の必要がなくなり、開校まであまり時間を要しないと思います。そのため今八開地区から学校を無くす判断するのは早いのではないのか。
		答	このまま人口減少が進むと、複式学級で授業をすることになるかもしれませんが、統合することでその問題は避けられ、教員の配置も確保できます。また、立田八開地区は喫緊の問題であるので、議論を進めていますが、将来佐屋佐織地区でも必要になるかもしれません。
4	八開地区	問	スクールバスについて、利用は保護者負担があるのか、小学生だけでなく中学生も使えるのか、どの地域で使えるのか、3点質問します。
		答	スクールバス導入に保護者負担は考えていません。また、運行方法や範囲についてはまだ議論がなされていません。統合案が認められた後に通学方法や施設等の面も含めた議論が必要になると思います。
5	八開地区	問	八開は佐織と、立田は佐屋と学区の再編で対応するという発想はなかったのか。愛西市で小規模だから統合するのではなく、全国の状況と比べているのか。山間へき地ではさらに少ない人数で運営していると思います。
		答	全国の小規模校の状況、へき地学校の状況は現在資料が無いためお答えできませんが、必要であれば次回以降の保護者会で提示させていただきます。立田八開地域での統合についてですが、検討協議会において学区の再編について協議がなされました。現在の子どもの数、過去からのコミュニティの考え方を考慮に入れ検討しました。立田は佐屋に、八開は佐織にと考えると立田八開地域全体から学校が無くなる可能性も出てくるので、この案を提案しております。
6	八開地区	問	愛西市の適正規模の基準の説明がありましたが、国の基準はどうなっていますか。
		答	小学校は1学年2学級以上が望ましいとされ、中学校では9学級以上を確保することが望ましいとされています。
7	八開地区	問	スクールバスは無料で利用できるのか。
		答	スクールバスの運用は公費負担を考えています。
8	八開地区	問	通学に関して中学校は6kmの基準があり、八開北部は基準を超えるが、中学生もスクールバスを利用できますか。
		答	通学距離の基準は小学校4km、中学校6kmとされており、現段階では原則として基準を超えるものはスクールバス利用を考えていますが、範囲や順路など具体的な運用は皆様の意見を伺いながら検討していく課題です。
9	八開地区	問	茨城県のスクールバス利用例で、部活動に参加できなくなったという意見があります。部活動の選択が増えることと相反するのではないのでしょうか。
		答	スクールバスの運行方法によっては部活動の範囲が狭まる可能性がありますが、運行方法についてのこれからの検討課題かと思えます。
10	八開地区	問	出生時と就学時の人数に差が出ると思いますが、その点は考慮に入れないのでしょうか。
		答	教育委員会が提供している資料は現在把握している実数を用いています。そのため、将来転入転出等で差異が出ることはあります。
11	八開地区	問	統合が広大な範囲に及びますが、財政面で市が支えきれぬのか。
		答	財政面に関してはこれからの検討課題です。今回の案は教育委員会としてより良い教育環境を整備するという点から方向性を示したものです。

12	八開地区	問	教育委員会の議事録を見ると6月までは統合案2が有力で、7・8月は議論が無く、9月に統合案1に決定されていますが、これはどういう状況ですか。
		答	この度の立田八開の未就学児の数値を示し、時期的に結論を出さなければならないと判断し、教育委員から意見を伺い、今回の結論に至りました。
13	八開地区	問	教育委員会で3年協議したとのことですが、参考にしている海津市は8年の歳月をかけています。まだ協議が少ないのではないかと。
		答	今回は第1回の保護者説明会です。まずは一つの方向を示さないと議論にならないため、教育委員会で今回の案を示しました。もちろん先進の他地区の状況も承知しております。協議が少ないという意見ですが、この保護者説明会を皮切りにこれからの議論が必要であると考えています。
14	八開地区	問	議論によっては今回の案が廃止される可能性はあるか。
		答	保護者だけでなく地域の方にも議論をしてもらう必要があり、これから進めることなので、現時点で決定が廃止かを決めることはできません。
15	八開地区	問	八開中の小規模ばかり問題にしていますが、学力が下がっている等他の問題があるなら早急に進める必要があると思うが、学力状況はどうなっているのか。
		答	学力の面ではなく、より良い学習環境の整備という点で提案しています。小規模化の問題は他地区でもあり得ますので、八開中だけを問題視していることはありません。
16	八開地区	問	立田八開で0歳児が14人だが、少ない地区同士でなく他の地区との統合は考えなかったのか。佐織でも少子化が進むのなら、今から八開佐織の統合を考えても良いのではないのでしょうか。一から考える必要があるのではないかと。
		答	検討協議会で少子化が進んでいる立田八開地区を早急に検討しなければならないこととなりました。今後は佐織や佐屋地区も順次議論が必要になると認識しています。
17	八開地区	問	小中一貫校の場合、高校受験を控えた多感な中学生と入学したての小学生がどのように交流するのでしょうか。
		答	異学年がどのように交流するかは、学校経営の中で現場教員を交えてこれから議論していく課題だと認識しております。
18	八開地区	問	地元への説明会はいつごろになるのか。
		答	9月末に第1回教育総合会議で教育委員会から今回の案を提案します。その後、10月末に第2回総合教育会議、11月に総合教育会議の内容やこの度のご意見や質問に答える形での第2回保護者説明会と12月から1月には地域説明会を行う予定です。日時は決まっておりませんので、決まり次第HPや広報等でお伝えいたします。
19	八開地区	問	少子化で学校の統廃合は仕方ないと思います。人数が少ないと体育でチーム人数が足りず、サッカー等の競技もできません。ある程度的人数で切磋琢磨することが子どものためです。開治の子が立田まで通うのはバスを使っても時間がかかるので心配です。しかし、バスを使わないと徒歩では人数が少なく危険もあります。また、バスが通る道が狭いとすれ違いが危険なので、その点も考慮してほしいです。
		答	スクールバスの具体的運用はまだ決められていませんが、すべての家を回っていくのは不可能かと思えます。例えば集合場所に集まりその場所をバスが回るということになるかもしれません。実際の運用については今後の検討課題になると思えます。
20	八開地区	問	立田中のハザードマップはありますか。八開の海拔0m以上の地域に住んでいますが、低い土地に通わせるのは不安です。
		答	防災面では愛西市内は海拔0m地域がほとんどです。大きな災害が起きるとどの地域でも危険になりえます。
21	八開地区	問	アンケート結果で八開地区の統合が不必要と回答した人が20%とのことですが、されど20%ですので慎重に審議していただきたい。佐織地区の方が近いのでそちらとの統合も再検討してほしい。スクールバスは土日の部活でも運行してほしい。統合後の児童クラブがどうなるのか気になります。
		答	学区の在り方ですが、統合後の魅力ある学校経営により、近い学校よりスクールバスで通う方が良いと考えてもらえると思います。学校統合後も児童クラブについては既存の各地区のものが機能するのが良いと考えます。今後の検討課題として議論していく必要があると認識しています。アンケートで賛成多数だから進めるものではなく、少数意見にも耳を傾け、理解していただけるよう協議することが必要と考えます。
22	八開地区	問	統合はいつごろになるのか。
		答	様々な検討・手続きを経て進めますので、早くても平成34年か35年になると考えられます。
23	八開地区	問	スクールバスは字に1人になっても走るのか。子ども会は存続するのか。
		答	私見ですが、スクールバスは集合場所に集まってもらえれば走らせることになると思います。子ども会については小中学校統合の問題ではなく少子化に伴い地域が抱えている問題かと思えます。これはまた別の議論になろうかと思えます。

24	八開地区	問	小規模校の統合が必要かというアンケート結果がありましたが、それぞれの地区で統合するのと立田八開地区で統合するのでは結果が変わってくるのではないのでしょうか。バス導入を理由に適正人数にするために広範囲で統合するのは問題です。地域の人や地域の子どもを見ることが出来る学校が大切で、コミュニティを壊してほしく無い。いくら適正規模でバスを導入しても8km先の学校に通わせる親はいないと思います。この案に絞って提案することのだが、否決された場合他の案を提案することになるのか。
		答	アンケートは具体的にどこを統合するかではなく、単純な統合の意思についての質問です。今後各地区で統合案についてのアンケートが必要であれば行うこととなります。案が否決された場合、総合教育会議より別案を考える指示があれば検討することになりますが、現段階ではこの案についての様々な意見要望を伝え、協議していくことが必要と考えます。
25	八開地区	問	7月の教育委員会までは2案が有力であったのに、教育長と教育委員長が変わり、9月に急に1案に決まったのは納得できない。どういう経緯があったのか。過去の議論は参考にされたのか。
		答	今後の児童数の推移を考慮に入れ、適正規模を考えたとき1案が良いと判断しました。急に変わったのではなく、以前より1案2案についてどちらが良いかを検討してきたところ、最終判断をする段階に入り1案と判断したという状況です。
26	八開地区	問	1案で進めていくということになるのか。
		答	1案を総合教育会議に示し、問題・疑問・課題を報告し、そこで議論を進めていくこととなります。1案で決定したわけではありません。
27	八開地区	問	統合後の教員増員が終わり、5年後は当初できていたことができなくなる状態が茨城県の事例で起きています。スクールバスも小中なら茨城の事例よりも高くなります。こんなにコストをかけて八開の生徒を運んでいることは他の地区が納得するのでしょうか。
		答	まだ、予算等の面は議論がされていない状況で説明会を開いております。総合教育会議でこの度の意見も踏まえ提案していきます。
28	八開地区	問	愛西市として人数が減っていくことを留めること、若い世代を呼ぶことを考えたことはあるか。
		答	愛西市の人口を増やす施策としては、産業の振興、観光の振興を上げること、何よりも住みよい街を作る施策を総合計画に盛り込みながら進めている。保育環境の整備など、食い止める施策はやっています。子育て支援の促進も取り組んでいます。その中で、少子化を食い止められるかは今後の課題となります。今回の提案は、現状及びこれからの生徒児童の数に対して教育委員会がどういう対応をして行くかを検討しています。このままでいいのかということで一つの方向性をお示しました。まずは、この案に対してのご意見やご質問を承りたいと思います。
29	立田地区	問	今回は、スクールバスの細かいことは決まっておらず、方針だけ説明されたということですか。親としては、どういったスクールバスなのかで、賛成反対が変わってくる。今の状況では賛否の言いようがない。校区ごとなのか字ごとなのか、各家庭に訪問してくるのか、出欠席の連絡とかを心配するので、そこはこれからということですか。
		答	9月8日に教育委員会が3年間にわたる協議の結果を発表しました。この一つの決定に対して今後どのように進めていくのかは、おっしゃる通りまだ何も決まっておりません。今日が第1回目の保護者説明です。地域説明も何もされておりません。今日は、先ずこの案が通った場合に対象になり得る方にご意見やご質問をいただき、それらに対し、これから準備をして行く段階です。スクールバスに関しては、皆さんご心配の事だと思います。個別で回ることは不可能だと思いますが、まだ、私見ですが、どこかの集合場所に集まっていたら、そこで確認をしていただき学校にスクールバスを走らせる。何回バスを走らせるか、どういった形で行うかは、この案が認めていただければ、これからの課題になっていくと思います。良い環境作りをしていきたいと考えております。
30	立田地区	問	少ない所と少ない所を足したという話で、真ん中にしましたということは分かるのですが、東西（佐屋と立田地区、佐織と八開地区）に足さなかったという理由は何ですか。北部小、八開などは佐織に近いし、南部小学校は佐屋の方が近いと思いますが、その合併ではいけなかったのですか。
		答	検討協議会の中では、どこどこでという協議が相当されております。学区という考え方でいくとそれぞれのコミュニティがあります。その中で立田、八開という西のブロックを一つの学区にする。そしてなによりも、先ず、数が非常に減少している喫緊の状態であることを最重要として、先ず立田・八開地区の小中学校の在り方を検討するという事で協議がされて提案がされました。
31	八開地区	問	色々なところに子育て支援センターがあり、そこで学童保育もやっていますが、学童と支援センターはどうなっていくのですか。一貫校の近くではなく、今までのように家の近くに支援センターはあるのでしょうか。
		答	現在、具体案は決まっています。ただ、学区が一つになっても子育て支援センターや児童クラブは地区の重要な場所と認識しています。その点においては、今後、十分に検討してその環境が崩れないようにしていきたいと考えています。学童保育は、自宅に近く保護者が迎えに行きやすいところにあった方が良く、新しく大きなものを作るより既存の施設を利用することの方が、保護者にとっても有利なことだと思いますので、そのことに関して今後より検討を深めていきたいと思ます。

32	八開地区	問	無くなるかもしれない学校は、今後どうなっていくのですか。廃墟のような施設になってはいかないのですか。
		答	跡地利用については、教育委員会だけで決められることではありません。行政の中で総合的な検討が必要であると考えています。避難所にもなっていますし、地区のコミュニティの拠点として利用できます。どうするにしても、一つこの案が進まなければ次の検討に移っていけないのが現状です。今の時点で明確な返答ができない点はご容赦願います。
33	八開地区	問	避難所としても維持していくのですか。
		答	全部の施設が必要かということも検討課題だと思いますし、体育館、校舎などの施設が必要なのかも検討しなければいけません。他市の活用例も多く出ています。どういった形にするかは、この場で我々は言えませんが、当然、市としては、検討していかなければならない重要課題だと思います。
34	八開地区	問	メリットばかりで、立田中学校の場所に作るとしか聞こえてきませんが、他の検討の余地は、もうないのでしょか。
		答	検討協議会から出された3つの案について、教育委員会がより良いと思う案を1つお示ししました。それについての協議をしていただく、この案に関しての色々な協議をしていただくということで、まだ、決定はしておりません。ただ、この案に対するご意見ご質問をお聞きして解決しながらこの案を進めていきたいという思いはあります。この案に至るにあたっては、皆さんからご意見をいただいているコミュニティの件、スクールバスの件、財政面を検討していき、このような保護者説明会を経て市が関わる総合教育会議に教育委員会としての案として提示していき、市全体として、この案を進めていけるかどうか協議されていきます。今後のスケジュールとしては、総合教育会議を何回か開催し、その経緯をその都度皆さんにご報告しながら地区説明を行っていきたいという考えでおります。今は、教育委員会としてはこの案を進めていきたいと考えております。
35	八開地区	問	今まで、各小中学校で培ってきた伝統というものがあると思います。もし、統合するとこのような伝統が受け継がれないのではないかと思います。立田の伝統は受け継がれて八開の伝統は受け継がれないかとも思います。人数の減少について数字の面ではわかりましたが、目に見えない伝統の継承などの細かいことはどうなっていくのでしょうか。
		答	各学校での特色ある行事等があることは理解しています。例えば、一つの学校になったときも、学校の経営方針の中で考えていきます。各学校の保護者などのご意見をお聞きしながら進めていきたいと思っています。もし、新しい学校ができるとしたなら、新しい学校で新しい伝統も作っていただいたいという思いもあります。
36	八開地区	問	新聞の内容は、どこまで信用していいのですか。
		答	現時点で、9月9日と本日の朝刊で2回中日新聞で報道されています。両方ともその通りでございます。もし、誤った報道がされれば、当然、その旨を伝えたいと思います。
37	立田地区	問	早くても2022年と新聞に書いてありましたが、今は中学校の規格なので小学校の規格の施設、遊具などが必要になると思います。工事が必要になってくるとは思いますが、いつ頃から考えればよろしいですか。
		答	今回の報道では、一番早くも2022年度ということですが。基本計画、実施計画、実施設計、条例改正、議会の議決などを順調にクリアして、教員の配置、学校経営の取り決めを速やかにやって、早くても平成34、35年しかたどり着けない事業です。といった回答を聞いて、新聞では2022年度と掲載されました。という、全て順調にいつ工事ができる期間としては、平成33年度、34年度となります。
38	立田地区	問	今、立田・八開地区に住んでいる方が全て小中一貫校に行くという前提で話が進んでいるようですが、行くつもりがあるかどうかのアンケートをとる予定はありますか。他の学区や私立中学に行きたい方などはどうするのですか。
		答	保護者の方に関しては、何らかの形で直にご意見等をいただく場をアンケート等で設けたいと思っています。何よりも通わせたいと思っていただけるような教育環境を整備しなければいけないと思っています。通学面、施設面、環境面、そういったことを踏まえて教育委員会としては、魅力のある学校づくりを考えていきたいと思っています。
39	立田地区	問	スクールバスは、小学校中学校共にあるのでしょうか。
		答	スクールバスの導入が大前提になります。しかし、スクールバスについての検討はまだされていません。小学校、中学校どのような方法でどのくらいの頻度で運行するかは今後検討することになります。費用は公費負担を考えています。私見ではありますが、一定の集合場所を設置した上での送迎を考えています。実際の運行方法については、皆様のご意見を伺いながら検討していくこととなります。
40	立田地区	問	新聞に統合は2022年度目安と書いてありましたが、時期は確定しているのですか。立田中学校の敷地内に作る書いてありますが、小学校はどうなるのですか。
		答	時期については、この統合案で手続きが順調に進んでいった場合は、平成34年度35年度になるだろうとの答えを受けて新聞に掲載されたものです。現時点では、今の予定がその通りに行くことは申しあげられないところです。

41	立田地区	問	メリットの話はありましたが、デメリットはなにもないということですか。
		答	当然、デメリットはあります。例えば、小中一貫教育、若しくは人数が多くなるときは人数が多くなった分先生の目が行き届かなくなることはデメリットになります。その他いくつかありますが、今回はプレゼンに近い形ですので、多くのメリットをお伝えしております。デメリットに関しても当然教育委員会の中で一つ一つ解決していく課題であることは認識しております。
42	立田地区	問	何故、立田と八開の統合ですか。
		答	検討協議会の中で、協議はしました。その中で、立田地区と八開地区、愛西市内の西の地区ということでの統合。そして今、児童生徒数が激減し、喫緊課題となる地域をどうやって解消するかということで、先ず、立田八開地区を優先して適正規模を確保することを協議会で協議されました。
43	立田地区	問	子どもは、足が悪く医者に通っている。今、小学生の医療は無料だが中学校に入ると医療費もかさむので、統合に伴い税金が増えることは困ります。
		答	税金の投入について、教育委員会としては、財政の視点も持っていなければなりません。先ず、児童生徒にとってより良い教育環境を作るには、どういった形をとるのが良いのかという視点でこの案を提案しております。今後、総合教育会議、これは、市の財政部局も入ってきます。そういった中で実際検討していくにあたり、市としても財政の問題がありますのでその部分をきちんと検証したうえで、それぞれのところにご負担のかからないように協議していこうとしている段階です。今のところ、教育委員会サイドでどれくらいの財政負担がかかるかは協議していません。今後、市の財政部局も含めて検討していく課題と考えていますのでご理解ください。
44	立田地区	問	財政面の検討はこれからと聞いたが、検討の結果、統合案1でなくなる可能性はあるのですか。
		答	教育委員会としては、統合案1を総合教育会議にかけて、どうしたら実現できるか検討していきたいと考えています。統合案1が財政的にダメとなった場合は、今のところ代替案は考えておりません。市から再度、教育委員会で検討するよう言われれば検討することになると思います。
45	八開地区	問	一度に立田で一つにまとめるのではなくて、八開だけでせめて小学校を一つにするとかということから始めてほしいと思います。
		答	ご意見を総合教育会議に伝えさせていただきたいと思います。

第1回保護者説明会 9月16日(土)・17日(日) 意見・要望

No.	地域	氏名	意見・要望
1	八開地区	意見等	適正化を理由に八開から学校を無くすとコミュニティの拠点が無くなり、今後は地域の発展は皆無になる。また、4町村対等合併の趣旨から外れるので、八開から学校を無くすのは違和感を覚える。別の方策を検討していただきたい。加えて、立田南部地域は海拔0mなので、防災面からも疑問である。八開地区は海拔0mではない。
		答	地域コミュニティ拠点が無くなることは地域住民にとって大きな問題だと認識しておりますが、教育委員会としては児童生徒のためにより良い環境をつくることを主題として提案させていただいております。また、防災の面に関しては愛西市の広い範囲で海拔0m以下の地域でありますので、そういった状況に備える施設を検討することも課題であると思います。 いただいた意見は総合教育会議に報告させていただきます。
2	八開地区	意見等	将来の数字を見ると統合も納得はできるが、今の時点でやるべきではない。もっと少なくなってからやるべきで、遠くの学校になると子どもが犠牲になるので八開地区から学校を無くすべきではない。
		答	教育委員会では子どもが少なくなり問題が起きてからの対策では遅いという視点で提案させていただいております。今判断するのが決して早くはないと思います。それは、この案が遅滞なく進んだとしても実現するのは平成34年から35年と考えられるからです。
3	八開地区	意見等	八開地区で学校統合の話があるというだけで人口が減る原因になる。適正規模という数合わせだけで統合するのはやめていただきたい。
		答	今後の児童生徒のためにより良い教育環境を提供する視点でこの案を提示しております。また、学校統合の話をするのが地域の閉鎖的環境をつくるのではなく、適正化された学校を整備した方が、学校統合をせずに小規模校のままの学校を維持するよりも住み良い地区なのではないかと考えます
4	八開地区	意見等	今の案で進めていくために良い意見を聞く説明会なのか、出た意見によって案を変えていく意思があるのか。また、この案で進めるならより良い学校にするための意見を出そうと思うが、何年後に実現させるか決まっていないと意見の出しようがない。
		答	今回の説明会は9月8日に方向性を決めてから最初の説明会です。協議会からの3案を提示して説明会を開いても議論が紛糾し、まとまらないため、教育委員会で一番良い案を提案し、それについて意見をいただき問題を解決していくことが良いと考えました。もちろん、反対意見が多くなればこの案が無くなることも考えられます。 この後「総合教育会議」で今回の案を提案していきます。そこで市長部局で財政面等から実現可能かを議論することになりますが、教育委員会としてより良い教育環境の整備という視点で提案させていただきます。今後はその案についての問題点を一つずつ解消していくため地域説明会を開催していく予定です。 早くても平成34年・35年にしか実現できないと回答しましたが、問題なく進んだ場合でもこれだけ時間がかかります。速やかに実現できるように地域の合意形成のためには何度でも説明会は開催させていただこうと考えております。
5	勝幡地区	意見等	八開地区から学校を無くすのは八開地区の切り捨てだと思えます。統合案の説明で中1ギャップを解消するという理由がありましたが、中1ギャップを乗り越えられない子が高校・社会に出ていけるのか疑問に思えます。農村部だけで統合すると都会に出た時のギャップも考えられます。新生児の数が少ないことを考えると、完成するころには過小規模校になってしまいます。そのため、学校統合ではなく自由に選択できるようにすべきと考えます。学校毎の切磋琢磨ができると思えます。また、立田中学校の敷地は狭いのではないのでしょうか。敷地の周りの農地を買わなければ小中一貫校は作れないと思えます。立田に学校をつくることにこだわるのではなく、八開だけで学校を廃止するのなら、立田の学校も廃止し、佐屋佐織の学校で受け入れられるようにすればよいと思えます。
		答	回答無し
6	八開地区	意見等	スクールバス利用に関して待ち時間を少なくするよう、バスの台数確保を要望します。
		答	回答無し
7	八開地区	意見等	適正化を理由に八開から学校を無くすとコミュニティの拠点が無くなり、今後は地域の発展は皆無になる。また、4町村対等合併の趣旨から外れるので、八開から学校を無くすのは違和感を覚える。防災面でも立田地域は海拔0mなので、場所の検討も必要。佐屋や佐織地区との統合を検討すべき。統合のメリットだけでなく、デメリットも伝え意見をもらうのが良いのではないかと。
		答	地区のコミュニティは大きな問題かと思えます。統合の後は今までの地区コミュニティではなく新しいものになる可能性もある。学校の統合は教育環境だけの問題ではないと認識しております。

8	八開地区	意見等	子どもが開治小に通っていてクラス替えが無い。早く統合してほしい。中学校は立田中を利用すればすぐに統合できないか。小学校は別で建設しなければならないが。
		答	統合については、校舎整備はもちろん条例の改廃や教員配置等様々な手続きが必要です。すぐに実行できるものではありません。今後様々な協議をして進めていく必要があります。
9	八開地区	意見等	児童クラブは残してほしいです。
		答	回答無し
10	八開地区	意見等	今回の説明会の案内は小学校だけだが、これから学校に通う方たちの意見を聞けるよう、保育園や子育て支援センターにも今後は配布してもらいたい。 学校が無くなると子育て世代が住もうと思わなくなるし、分譲の条件でも学校までの距離は重要かと思えます。住んでもらえるような子育て世代への優遇措置も同時に考えてもらいたい。
		答	説明会の案内が行き届いていないことはお詫びいたします。この第1回説明会は時間が無く周知が難しかったこともあります。今後、何度も説明会は開催いたしますので、次回以降は日程が決まり次第早めに周知していきます。 学校が無い地区には住みにくいのご意見ですが、スクールバスが配備され、適正規模の小中一貫校を整備した地区である場合、過少規模で1クラスの学校である場合どちらが若い世代に指示されるものなのかが問題と思えます。私見として、適正規模の学校を整備した地区とするのは決して魅力を失うものではないと思えます。 子育て世代の優遇措置については教育委員会で議論する内容ではありませんが、ご意見として総合教育会議に伝えていきます。
11	八開地区	意見等	統合だけでなく、学区の見直しや学校選択の検討も必要であると思えます。
		答	回答無し
12	八開地区	意見等	市では少子化対策はどのように考えているのか。若い世代の就農についても必要であると思えますので、総合会議での要望を望みます。
		答	回答無し
13	勝幡地区	意見等	八開地区から学校を無くし、莫大な費用で立田だけに学校をつくる必要はないと思えます。スクールバスを走らせるのは良いですが、新しい学校を建設するのではなく、(その費用で)教室にクーラーを入れる等のほうが良いのではないかと。 新生児が14人ならば新しい学校ができた時にまた統合が必要になるのではないかと。統合ありきで話を進め、八開地区を犠牲にしてほしくありません。
		答	回答無し
14	八開地区	意見等	昭和48年の文部省の通達で適正化を進めるときに地域紛争が起きるのを禁じるものです。無理に適正化を進めないようにするものですが、一部該当してしまうのではないのでしょうか。 茨城県では統合が進み、統合後の問題点も出ています。こちらを参考にせず統合は進めないようにしてほしい。
		答	回答無し
15	八開地区	意見等	自分の時代も小規模校で1クラスだが不自由はしませんでした。2クラス以上ないと運営できないということはないと思えます。小規模の中で切磋琢磨できる環境、より良い環境をつくっていくのが教育委員会に必要なことではないのか。
		答	回答無し
16	八開地区	意見等	地域住民との紛争を生じないようにする配慮が足りない。方針を報告されて、これで進めますというのは納得できない。住民の意見を聞いてから計画を立てるべきである。費用の面は考えず理想を求めるのは市民に税金負担を押し付けている。スクールバスの費用も茨城県の例は小学校183人バス5年間運営費3,900万円です。教員の数が増えるのは1学校あたりの話で、生徒に対しての教員数は減ります。適正人数だけで考えるのは良くないので考え直してほしい。
		答	回答無し

17	八開地区	意見等	皆さんに教育委員会の議事録は読んでもらう必要があると思います。2案に決まりかけると事務局から検討しなおすような発言があったり、八開を軽視する発言、予算は気にしないようにする決め方、いろいろ問題があるように思います。地域の実情に合った統合が必要なのに、財政難の自治体が予算を気にせず統合を進めるのはおかしいです。市としてはもっと子供を増やすような施策をすべき。 教員の増員を言っていますが、教員一人が見る生徒数は増えるので、目が行き届かなくなるのではないのでしょうか。小規模校のデメリットばかり上げていましたが、メリットはあります。
		答	回答無し
18	八開地区	意見等	この案が否決されればさらに統合に時間がかかります。期限があるからとりあえず案を提出したとしか思えません。
		答	期限を決めて提案しているものではなく、現在の児童生徒、新生児の状況を鑑みて提案しているものです。教育委員会として方針を示し、それについて様々な意見をいただき、協議していくものと考えています。
19	八開地区	意見等	どのような数字をもとに議論をされているかも、もっと公表すべきと思います。市の施策で人口減少を食い止める努力が必要です。子ども医療費が出ないのにスクールバスにはお金をかけるのはおかしいです。
		答	回答無し
20	八開地区	意見等	昨日は、八輪小学区と開治小学区の2か所の説明会に行きました。本日の新聞にもありましたが、小学校、中学校は地域のコミュニティの拠点であります。八開地区においてその拠点を全くなくすることは、コミュニティを全く壊してしまうということになります。個人的に言えば、一生懸命運動、勉強に励んだ母校が無くなるということは、全く耐えられない気持ちです。なんとしてもこれは阻止しなければならぬと思っています。コミュニティを無くすこと、壊すことは、5年後、10年後に若い者が住まないという地域になってしまうことですから言葉は悪いですが、切り捨てられたという感覚です。立田の皆さんは、逆の立場であったなら納得されますか。愛西市は、合併するときは、対等合併ということで合併をしました。小中学校全てを無くすことは、そもそも対等合併に反するということだと思っています。私も現在、総合計画審議会の委員になっています。その中においては、各地区のコミュニティを壊さない、大切に市職員の手助けしてほしいとコミュニティを盛り上げ活用してほしいという大きな命題で進んでおります。今回の教育委員会の方針は、それに逆行するような方策です。昨日の説明会でも統合ありきのメリットばかりの説明がありましたが、今の状態でも何とかやれる方法は無いのかを検討すべきだと思うし、保護者にどのような不利益があるかも考えなければいけないということだと思っています。昨日の説明会で意見を言われた方が、茨城では、スクールバスを走らせるのに非常に3千万円はかかることも考えられます。小規模学校は、国、県でも認めており、メリットもあるわけです。生徒が少なれば先生の目も届きません。それなりのいい面がありますのでそれを切り捨ててまで強行するのはおかしいと思います。もう少しいい案が無いかと私は思います。立田の賢明な皆様、是非、一度考えていただきたいと思っています。部活ができないから統合するというのも一つあるようですが、現に八開中は佐織西中と共同で部活動をやっているそうです。ですから、できないのではなく知恵を絞ったやり方でやれるということです。固定観念でやっていくことはおかしいと思います。八開と佐織、立田と佐屋のように交流もできると思います。本来は、学区の見直しをして少ないところに多く行けるように生徒を誘導するという方策があってもしかるべきだと思います。突然このような提案を出すということはおかしいと思います。交流をしてそれが成り立つような教育行政をやってほしいと思います。
		答	コミュニティの重要性は、学校の統廃合において優先の課題になってくることは教育委員会も承知しております。先生の目が届きやすいなど小規模校は小規模校の良さがあることもわかっております。一方ではその中の位置づけが固まってしまうというデメリットもあります。部活動は大したことではないと仰られるかもしれませんが、部活動も一つの教育です。そういった環境が全然取れなくなっていきます。例えば、教育委員会がこのまま何もしていないときに保護者の皆さんは納得するのか。これが、教育委員会が今回このような案をご提示しなければならない理由です。当然、地区のコミュニティの方々とも協議を重ねていかなければなりません、なぜ、今必要なのかと言えば、これから5年、10年先に子どもが少なくなって複式学級を余儀なくされる時、果たして保護者の方々がこれは切り捨てではないかと言われなかったための一つのご提案であることをご理解いただきたいと思います。教育環境というものは、果たして今のままでいいのかどうか、そういった点を考慮したうえでお示しいた案です。ご意見は、総合教育会議お伝えしたいと思います。(統合後の学校が)悪い場所になることは、本末転倒なので、検討の中で、どういう形が良いのか検討されていくはずです。

21	勝幡地区	意見等	(会場の人に八開地区の保護者説明会の情報提供) 学校選択制の照会は、メリットしかないと考えます。市の説明には矛盾点が多くあります。今ある施設を有効に活用できるから統合案1であると言われたが、立田中学校の敷地は狭いのではないだろうか。敷地の周りの農地を買わなければ小中一貫校は作れないと思います。周りの土地を持っている方においては、二束三文の田んぼが高く売ればうれしいかもしれませんが、私としては、立田・八開地区で新生児が年間35人ほどしか生まれない状況で立田・八開地区に新しい学校を作るとは、無駄そのものだと思います。今後とも存続の可能性のある地域、佐織や佐屋に行きたいと思う子どもがいればそこに行ってもらおう。来年4月からでも学校選択制を導入してもらおう。スクールバスで通学を希望すれば、全員スクールバスで送迎すればいいと思います。小中一貫の立派な学校を作るお金があるなら、スクールバスを走らせます。そして、そのスクールバスを使っていきたい学校に行かせてあげてください。(9月8日定例教育委員会の話) 色々な疑問点があり、統合案1には反対です。
		答	(9月8日) 定例教育委員会の説明)
22	立田地区	意見等	新しいことに向かう時は、色々な問題が起こります。子供たちにはすごい力があるので、環境の変化についてもやがて慣れていくと思います。私の時は、小学校7クラス、中学校15クラスでした。毎回クラス替えがあって、そのたびに違う友達ができ、勉強の続きで楽しかった。細かいことは分かりませんが、これから少子化が進めばこのような問題が絶対起こってきます。孫が小学生だけど1クラスだと淋しいし、何年生になっても毎回同じ友達なのです。友達の輪が広がりません。私としては、可哀そうだなと思っています。学童の問題が心配でしたが、先程の話で、学童はそのまま残るといったので安心してしています。私は、数年先のことを思えばこのような問題が起こることは仕方ないと思います。時代時代に合わせてやっていかなければならないと思います。
		答	適性規模という視点で教育委員会が取り組んでいる内容そのものです。適正規模を確保するということで、それぞれメリット、デメリットがあります。我々としては、デメリットを着実に解消していけるように努力をしていきたいと思っています。
23	立田地区	意見等	統合ありきで説明会に参加しました。自分はこの地域ではありませんが小規模校に通ってましたので小規模のいいところはたくさん知っていますし、デメリットも知っています。小学校は色々な子供の差もあるので先生の目の届く小規模であってほしいと思いますが、自分が中学生の親になったということもあって少ない人数だと全体の中のレベルがわからない、人数が多ければ高校の事を考えると、これくらいの位置にいるのだなということもわかるので中学校は人数が多い方がいいと思います。こういう問題が、大人中心に進んでいくことは仕方ないことかもしれませんが、子供にとって教育内容が将来につなげられるような形にしてほしいし、学校内で伸ばせるところは学校で伸ばせるようにしてもらいたい。先程話があったように専門の先生がもっとしっかり教えることのできるような体制をとってもらいたい。
		答	回答無し
24	勝幡地区	意見等	昨日からの説明会に全部出席させていただき、皆様の意見を集約しますと、やはり合併することでデメリットが大きいのではないかとのご心配が非常にありました。特に八開地区は学校が全部なくなってしまうことに関して非常に拒絶反応を起こしています。そういった状況で、立田と八開の学校をくっつけて軋轢ができないかは非常に心配です。財政の問題があるということで、今、取りかかっても早く平成34年、35年になってしまう。今、新生児の数が少ないことを考えると、完成するころには過小規模校になってしまう。新しい一貫校を作ってもすぐ潰すということができてしまいます。今、強行してやっていくことは非常に間違った方向に進んでいると思います。私が主張することは、あくまで保護者、児童生徒の意思を最大限に尊重する。つまり、学校を来年の4月から自由に選ばせる。スクールバスを運行するのであれば佐織のランチルームのあるきれいな学校にも通えます。小中学校の仕切りのない佐屋中で小学校、中学校で切磋琢磨する等、学区選択制で学校自然淘汰していくことが一番感情的なしこりもないいい状態ではないのかと思います。スクールバスを利用したい人には全て利用できるようにしてあげたい。立田と八開の農村部の学校を西ブロックと称して統合しようという計画なんです。農村部の環境はぬるま湯で温室栽培なんです。高校、大学、社会に出たとき、そこで生き抜く力が果たして農村部の小中一貫校のぬるま湯で完成できるのか。ある程度の人数を必要としている方は、来年度から大規模の学校に通えばいいんじゃないかと思っています。それで、選ばれない学校は自然消滅していく。学校の校長先生は必死になって自分の学校の魅力を高める。教育に特徴を持たせないとい人は流入してきません。教育が第一です。数値目標を立ててください。卒業生たちの進路をちゃんと把握しているのですか。学校の先生は、6年間、3年間で児童生徒を送り出せば後は無責任なんですよ。知ったこっちゃないと。そうじゃなく子供たちの品質保証をきちんとやってほしいんですよ。小中一貫校の建設は反対です。(午前中の大鹿部長の発言に抗議)
		答	回答無し

25	立田地区	意見等	子どもが立南保育園に通っていますが、今回の説明会の事を新聞以外では何も目にしません。でも、5年後の話とすると自分やおなかに子どものいる方の通う時期です。小学校だけではなくそういう方々にも声を掛けるべきだと思います。支援センターに配布するとか立南保育園とかに配っていただければよかったですと思います。なぜ、それができなかったのですか。
		答	9月8日の決定後、どこに先ず配れるだろうと考えました。そこで、まず考えたのが小学校でした。低学年のお子さんをお持ちの保護者に聞いていただきたいと。例えば、幼稚園、保育園というところにもという話もありましたが、市内の子の学区の中だけのお子さんをお持ちの保護者にお配りすることは難しいだろうと。ただ、回覧とか掲示はできたと思います。それをやらなかったことは、私どもの不手際だったこととお詫び申し上げます。今後、このような説明会を2回、3回と行っていくつもりでございます。今度は、日時に余裕をもってホームページ、広報等に掲載をして該当される保護者の皆さんにきちんと周知できるようにしていきたいと思っています。今回だけは、ご容赦願います。
26	八開地区	意見等	八開地区に学校がなくなることを昨日、娘から聞いて初めて知りました。多くの会議を開いたと聞きましたが、一般の方々の意見は、どれくらい吸収したのですか。多くの意見を聞いて、進めていくことが第一歩ではありませんか。地区に学校がなくなったら、ここに戻ってくる意味がなくなります。小学生なら特に歩いて行ける学校ということは、体にもいいことではないかと思えます。もしできるのなら、一般の方の多くの意見を聞いてもう一度やってもらいたいと思います。立田地区は切迫感がないかもしれませんが、八開地区は学校がなくなるということで心のよりどころがなくなりますし、それは大問題です。立田の方も自分たちの地域に学校がなくなることを考えていただければ理解してもらえと思い、今日は、お願いに参りました。部活の成績も残しているし、バズ学習などで取り上げられたこともあります。頑張ればやれるという精神を部活で学びました。
		答	今後の進め方の中で、教育委員会が一つの方向性を示させていただきました。そうしなければ、協議になりません。この案が決定したというものでもありません。今後の保護者説明会、地区説明会、対象となる方のご意見をきちんと掌握しながらこの協議を重ねていきたいと思っております。学校がなくなるというご意見も沢山いただきました。今の案でいけば、学校がなくなる地区も出てきます。そういったときどのようにコミュニティを維持していくかということも大きな課題と思っています。そういった点も踏まえながら地区の皆さん、保護者の方々ときちんと話し合いをしていきたいと考えておりますので、全て決定したのでこういうふうにしてほしいという説明会ではありませんので、ご理解願います。この案が認められるかどうかの是非はありますが、否となった場合の代替案は、今のところ持っておりません。先ずは、この案の課題にどのようなものがあり実施に向けてどうしてほしいのかを考えていきたいと思えます。
27	勝幡地区	意見等	八開地区は、全ての学校が奪われてしまう。立田地区もそれぞれが伝統を持っていると思いますが、それをひとまとめにしてしまう。ごちゃ混ぜにしてしまうのは、建設がしたいためにやることで、われわれ責任世代が大きな借金を残すことになる。作ってもすぐに過小規模校になることは見えている。学校選択制は子どもたちにとってメリットしかない。大変なのは、校長先生や教育委員会です。学校がもっと特色のある学校になれば、立田も八開も学校が生き残ることができるのです。
		答	回答無し